

進路便り

第1号

平成27年4月30日発行

熊本県立盲学校 進路指導部

今年度も進路便りを通して進路選択や日頃の学習の参考になる情報をお知らせしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

1 学校長より

**「If you can dream it,
you can do it!」**

校長 菊池きよ子

このことばは日本最初の宇宙飛行士 向井千秋さんが、最初の宇宙旅行を終えた1994年の秋、小中学生対象の「宇宙ふれあい塾'94」で述べたことばです。向井さんはこのことばの後に「これはみなさんが夢を持ったり、目的を持ったりしたら、それは実現するんだということばです。でも、夢や目的を実現するっていうのは、ときどきつらいこともあります。実際時間もかかるんです。」と述べています。

向さんは10歳で医者になりたいと志し、25歳で心臓外科医になったそうです。そして、32歳の時、病院の当直あけに読んでいた新聞に日本人宇宙飛行士募集記事を見つけたのが宇宙に行きたいと思ったきっかけだったそうです。そして宇宙飛行士選抜検査を受け、42歳になって無重力空間へ飛び立ちました。

向さんは、将来なりたい自分を想像し、そこに到達するため5年、1年、明日と短期目標を設定し、やるべきことを積み上げ、数々のチャンスを掴み取ってきたそうです。

「自分の気持ちに素直に生きてきただけ。夢を見つけるのが得意なのかもしれない。難しく考えずにやりたいことがあれば、何歳になっても周りが何と言おうとやればいいんです。一番大事なのは、自分の可能性を信じること。夢に向かって一歩踏み出せば、新しい世界が待っていますから。」

私たちは大きな夢を持って歩み始めても、壁にぶつかったときはついでできない理由を探します。「年だから」「お金が続かないから」「能力がないから」「障がいがあるから」などなど。そして、努力をやめます。努力を続けている間は夢は希望ですが、努力をやめたとたん夢は夢で終わります。

盲学校で学ぶ人は幼稚部から専攻科まで幅広い年代ですが、自分の夢に向かって努力しているところでは皆さん共通です。向井さんも宇宙飛行士になりたい夢の実現に10年かかりました。私たちも、まずになりたい自分の夢を持ちましょう。そして、今日の一歩が明日のスタートラインになるよう、まず今日できることを積み上げていきましょう。自分の夢を実現できるのは、自分だけなのです！

2 第23回国家試験について

毎年、本校の専攻科に在籍する3年生は、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の国家試験を2月に受験します。

今年は、平成27年2月21日（土）あん摩マッサージ指圧師（以下、あま指師）、22日（日）はり師・きゅう師の国家試験が行われました。国家試験は毎年2月の最終土曜日と日曜日に行われます。

本科および専攻科保健理療科の生徒は、あま指師を受験し、専攻科理療科の生徒は、あま指師に加え、はり師・きゅう師を受験します。試験は本校で行われ、午前9時から午後4時10分まで行われます。問題は、あま指師試験は150問、はり師・きゅう師試験が160問の四者択一問題です。長時間の試験になるため、学力だけでなく精神力と体力も必要となります。試験を終えた生徒たちは、

試験が終わった開放感とともに疲れきった表情を見せます。特に試験数ヶ月前になると、寝る間を惜しんで試験勉強を行い、中には家事をしながら空いた時間に勉強をしてきた生徒もいました。

国家試験に合格するには、正答率が60%以上必要になります。今回、全国の盲学校の合格率は、あま指師88.0%、はり師・きゅう師84.4%となっています。この数値は現役の受験生の数値であり、既卒者になると、あま指師28.8%、はり師、きゅう師で10%程度になっています。国家試験を合格するには現役の時に、いかに合格できるかが鍵になります。本校では、現役の時に合格できるように、授業時間以外に、始業時前、放課後、長期休業中などの時間を使って補習を行っています。今年も本校では、全国平均を上回る合格率となっています。

3 ごあいさつ

今年度から進路指導主事を担当することになりました山岡です。本校勤務2年目の高等部理療科の教員です。熊本県立盲学校に勤務する前は、大阪市立視覚特別支援学校で8年間勤務していました。

熊本に来てまだ2年目で土地勘もあまりないですが、進路の担当として積極的に外部機関に出向いて、情報収集や盲学校の広報活動、新しい進路先の開拓に力を入れていきたいと思えます。

今年度の進路指導部は、幼小学部2名、中学部1名、高等部5名計8名で運営してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。